



通所支援事業の ひとコマ

春の果物といえばイチゴ。通所支援の中庭でも5月に入って、たくさんのイチゴが赤く色づきました。そこで療育活動で利用者のみなさんと「春の苺づくし」を楽しみました。

まずは制作です。それぞれイチゴの色を選び、スタッフに手を添えてもらって種の模様をポンポンとつけていきました。みんなの作品を1枚のパネルに貼りあわせると、とっても素敵な「いちご園」の完成です。パネルは売店横の展示スペースに1ヶ月ほど飾っていましたが、みなさんご覧いただけたでしょうか。ベッドサイドでは、「イチゴ狩り」ごっこを楽しみました。洗濯バサミで留めた(作り物の)イチゴをひとつずつ引っ張って、たくさん収穫することができました。柔らかな触り心地や中に入れた鈴のコロコロした音を感じていただけたと思います。



中庭のイチゴはお散歩のときに利用者さんの目の前でスタッフが収穫し、お土産に持ち帰っていただく日もありました(利用日の関係で全員に配れず残念です)。育てているイチゴは四季生りの品種で甘さは控えめですが、実をつぶしたときのスッカリした香りに、口をモグモグさせたり、鼻をひくひくさせたりと、どの利用者さんもイチゴを楽しんでくれた様子でした。次の収穫はジャガイモの予定です。これからも四季を感じられる日中活動を計画していきたいと思います。(療育指導室長 村松 順子)



糖尿病ワンポイントアドバイス No.23

～CVRR検査 R-R間隔検査(心拍数変動検査)～

❖CVRR (Coefficient of Variation of R-R interval)とは
心拍のゆらぎを数値化したもので、自律神経の機能を評価するための重要な指標であり、糖尿病の三大合併症のひとつである神経障害の中でも、自律神経の状態を評価するための重要な検査です。

健康な人の心臓は一定のリズムで拍動していますが、呼吸や体の動きに合わせて、心拍の間隔(R-R 間隔)は速くなったり遅くなったりとゆらぎを持っています。

この自然なゆらぎは自律神経が正常に働いている証拠です。

自律神経障害が進行すると、このゆらぎが失われ、心拍が単調になります。心拍数の変動を調べることで、自律神経の状態がわかります。健康な人でも加齢によりゆらぎが小さくなり、CVRRの数値は低くなります。

また、不整脈のある方は適切な検査ができません。



❖検査法

ベッドに仰向けに寝て、胸・手首・足首に電極を取り付け心電図を記録します。心臓が拍動する心周期を100心拍測定します。

❖最後に

自律神経障害は症状が現れにくいいため、CVRR 検査で自律神経の状態を知ることが重要です。痛みもなく短時間で終わる検査ですので定期的に検査を受けて、早期発見、早期治療を目指しましょう。

(検査科 窪田 朱里)



三重病院
Instagram

こちらから
どうぞ

